

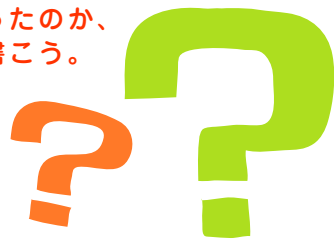
こおりがとけるはやさ

しらべたいことがわかるような
タイトルをつけよう。

きっかけ

どうしてしらべようと思ったのか、
きっかけになったことを書こう。

つくえの上におちたこおりよりも、コップの中
のこおりのほうがはやくとけたような気がした
ので、どうしたらこおりがとけるのにじかんが
かかるのか、しらべてみようと思った。



じっけんのやり方

つかったものや、しらべるやり方を
書こう。絵やしゃしんもつかうと
わかりやすいぞ。

おなじくらいの大きさのこおりをよういする。それを、ひとつずつ、水の中
に入れたり、しおやこむぎこ、パンこなどをつけてとけるじかんをはかる。



水の中

しお

こむぎこ

パンこ

よそう

しらべる前に、けっかをよそうして書く。
よそうした理由も書こう。

なにもつけないこおりが、
とけるのにいちばんじかんがかかると思った。

年 組 名前 ()

なまえをわすれずに書こう。

けっか

じっけんのけっかだけを書く。
表やグラフ、しゃしんをつかうとわかりやすいぞ。

水の中に入れたものがいちばんはやく、
パンこをつけたものがいちばんじかんがかかった。

こおりにつけたもの	そのまま	水の中	しお	こむぎこ	パンこ
とけたじかん	12分	3分	9分	12分	15分

水にいれたこおりは、どんとんととけてしまった。
しおは、こおりがとけるときに、しおもとけていった。
こむぎこは、こおりがとけるときに、水といっしょにながれてしまった。
パンこは、こおりがとけていくとだんだんとぬれてきた。

わかったこと

けっかからわかったこと、かんがえた
ことを書く。よそうとちがったときは、
どうしてそうなったのかかんがえてみよう。

こおりのまわりに水がすくないものほど、
とけるじかんがながくなっていった。

まとめ

けっかとわかったことをまとめて、
つぎにしらべてみたいことを書こう。

こおりのまわりに“水”がたくさんあると、こおりははやくとけて
しまうので、できるだけ水をつけないようにすれば、
こおりはながもちすることがわかった。